

ICTで授業をDX!

学年 小学校4年 教科 外国語活動 など

テレビ会議システムでリアルな世界へ!!!

使用するアプリケーション等

- ・ Google Meet (Zoom)
- ・ Google スライド

単元・題材 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう

本時の目標 自分の学校のお気に入りの場所を英語で紹介することができる。(知識・技能)

ICTを活用することで できること

- ・実際にGoogle Meetで相手と繋がり、生きた英語の学習ができる。
- ・Googleスライドを使うことで、言葉だけでなく、相手に画像、動画を共有しながらより具体的に内容を伝えることができる。
- ・Googleスライドを使うことで毎回教師が成果物を回収してチェックする手間はなく、いつでもオンライン上で指導することが可能になる。
- ・1対多数ではなく、グループごとにわけることによって一人一人に英語でのコミュニケーションの時間を確保できる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①英語でのあいさつ
- ②歌を歌う
- ③単語を反復練習

2 展開

- めあて** 自分のお気に入りの場所を英語で紹介しよう!
- ①お気に入りの場所を考え、ワークシートに書く。
 - 児童にワークシートを配り、自分の考えを書いてもらう。
 - ②ワークシート (ビンゴマス) をもって考えを交流する。
 - 鉛筆、ワークシートを持ち、友達のお気に入りの場所をメモをする。
 - 交流後、ビンゴゲームをすることで、楽しく英語に親しませる。

3 まとめ

- ①振り返りをワークシートに記入する。
- ②振り返りを何人かに発表してもらう。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①英語でのあいさつ
- ②歌を歌う
- ③単語を反復練習
- ④自分の書いたお気に入りの場所を振り返る
 - Google スライドでお気に入りの場所 (写真・文章) の読みの練習をする。

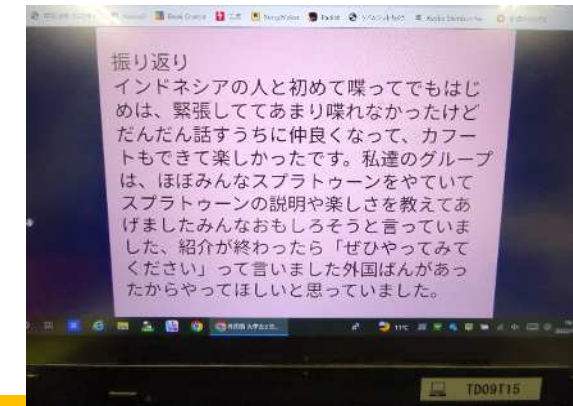
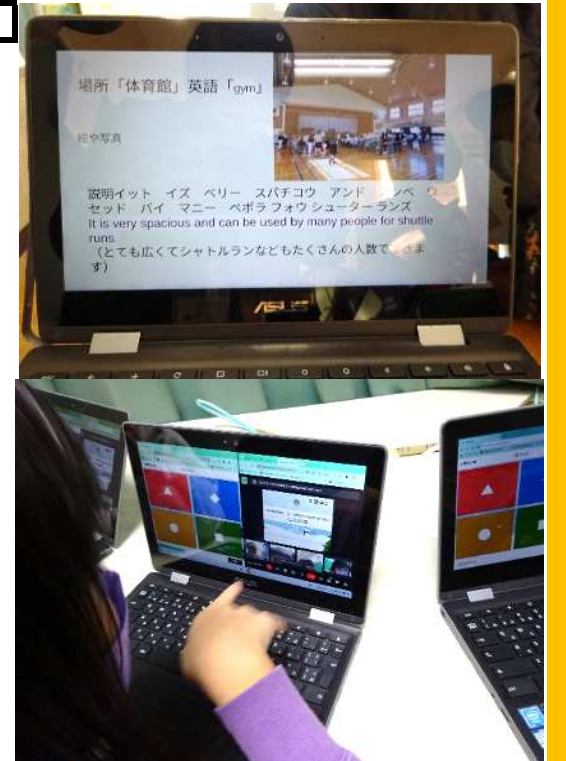
めあて 自分のお気に入りの場所を英語で紹介しよう!

2 展開

- ①インドネシア大学とZoomを繋ぐ
 - インドネシア大学の学生の学生と自分のお気に入りの場所についてGoogleスライドを使い、交流する。
 - その際、インドネシア大学の学生は日本語を当校の児童は英語での会話をする。Zoomで相手の表情を伺いながら進める。
 - 自分の発表が終わったら、好きなものごとについて英語で質問する。
 - カフト、YOUTUBEなどを活用する。
 - インドネシアの学生には簡単な日本語で答える。

3 まとめ

- ①振り返りをロイロノートに記入する。
- ②Zoomでインドネシア大学の学生に向かって感想を何名か伝える。



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・交流に費やす時間を増やすことができ、大学生と英語でのコミュニケーションを多くとることができた。
- ・クラスや学校の友達ではないからこそ、良い緊張感を持ち、学習に取り組むことができた。
- ・質問が終わってしまった児童は、オンライン上でできる様々なことを考えて相手を楽しませようとしていた。
- ・常に教師側のパソコンで児童のスライドがどこまで進んでいて、困っているのがわかるため、指導にも無駄がなかった。
- ・相手の国によっては電波の関係なども考えないと、映像が荒くなってしまったり、つながらなったりしてしまう。